

農場通信 2025年 11月号

2025/10/29

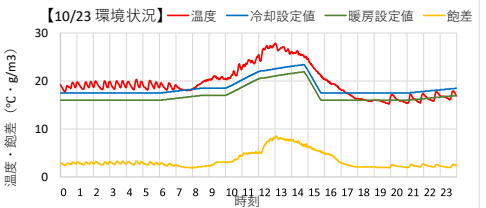
トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 開始日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② 大玉トマト短期品種比較試験(2作) ③ 2025/7/28 ④ 2025/12月末

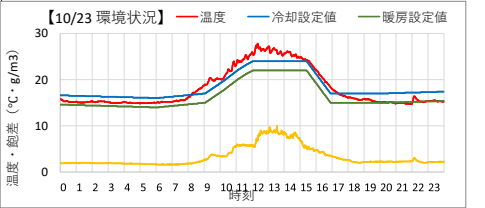
品目		
栽培中 栽培準備中 今月最終	圃場写真①	圃場写真②
直近の環境データ・管理方法(晴天日)		
※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		

大玉トマト 年内作		
		7月4日に播種、28日に定植を行いました。大玉トマトの品種比較栽培を行っているハウスです。 6段目の収穫が始まりました。日射が弱くなり、果実の着色速度も遅くなりました。今後も草勢を落とさず、栽培していきます。コナジラミの発生は天敵資材を使用しているため、少ない状態を継続で来ています。雨天時には日中も暖房機を炊いて温度管理をしています。

① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/7/28 ④ 2026/6月末

ミニトマト		
【10/23 環境状況】 温度 冷却設定値 暖房設定値 飽差 		7月4日に播種、7/28定植。 今作も20品種の比較試験を行います。 高温、短節間、食味、玉肥大の4テーマでの栽培となります。 給液EC2.3、給液量1800ml/株で管理。 6段目を収穫中。現在12段目が開花しています。 タバコスカミカメはたくさんいますが、コナジラミも存在しています。週1回消毒を行いコナジラミ対策をしています。10月の曇天で伸びた品種もあります。気温が低くなってくるため、ハウス内気温も徐々に下げて管理していきます。

① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2025/8/18 ④ 2026/6月

大玉トマト 抑制長期作 (年1作)		
【10/23 環境状況】 温度 冷却設定値 暖房設定値 		7月28日播種、8月19日定植。 今年度も20品種の栽培を行っています。 「耐裂果性」「短節間」「バランス型」「玉肥大」の4テーマで栽培中。 給液EC2.0、株あたり1800mlで管理。 現在1〜2段目収穫中。タバコスカミカメの放飼と気門封鎖剤中心の防除により、コナジラミは少ない状態で管理できています。

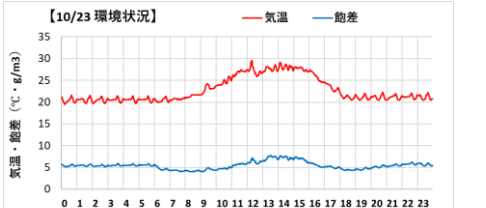
① 第4 D ② バラエティ品種比較試験 ③ 2025/8/19 ④ 2026/4月末

バラエティ トマト		
		7月28日に播種 8月19日に定植を行いました。今作も品種比較試験を行っています。 どの品種も本格的に収穫が始まり、収量が前月と比べ増加傾向にあります。品種でバラツキはあるものの、草勢は中度でキープしています。中大玉の品種については裂果と落果が多く見受けられます。天敵資材の効果もありコナジラミの発生は抑えられていますが、今後も週1回の薬剤散布を行っていきます。忌避効果のある殺虫剤を中心にローテーションを組んでいきます。

① 第4 E ② イチゴ栽培試験 ③ 2025/9/26 ④ 2026/5月末

イチゴ		
		9/26、10/1に定植。品種比較、クラウン温度制御、重量灌水制御の試験を実施中。 EC0.6、給液300mlで管理。 天敵ダニを放飼し、ダニやアザミウマを対策。様子を見ながら、消毒を行っています。 一部の品種で開花が始まっており、全体的に花芽が出てきている状態です。 ランナーやドロ芽が出てきているので、こまめに管理作業を行っています。

① 第4 J ② ココバッグ養液栽培試験
品種比較試験 ③ 2025/10/14 ④ 2026/4月中旬

キュウリ		
【10/23 環境状況】 気温 飽差 		ココバッグを使った養液栽培に適する品種比較試験を行っています。穂木品種8種類・台木品種4種類を栽培します。年2作型とし、1作目は10月14日定植、4月中旬で終了。2作目を4月下旬に定植し、9月末まで栽培を行う計画です。 定植後、親つるを6節で摘芯し、子つる4本仕立てとします。初期活着は順調でしたが、10月中旬以降の曇天続きで、やや生育は遅れ気味。子つるを素直に伸ばすために、夜間20℃とやや高めの温度管理をしています。親つるに付く雌花は摘花し、子つるから収穫を始めます。収穫開始は11月中旬頃を見込んでいます。

① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/8/15 ④ 2026/7月頃

高糖度 ミニトマト		
【10/23 環境状況】 気温 飽差 		穂木品種6種類・台木品種6種類で高糖度栽培での品種比較試験を行います。 定植は8/15、128穴プラグ苗で定植しました。 現在、2段目収穫中。初期は全体的に強草勢でしたが、初期の着果負担と10月の曇天でやや草勢は衰えています。今後は管理温度(特に夜温)を徐々に下げると、給液ECを上げて締まった樹姿に仕上げていきます。ECは11月までに4〜5程度まで上げて、排水ECが20程度になるように管理していきます。



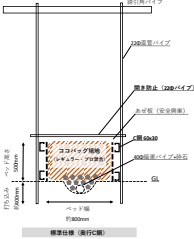
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第6 ② キャベツ品種比較試験 ③ 2025/8月～ ④ 2026/春

キャベツ		
冬系キャベツ 5作型 ①7/18播種 10月収穫 ②7/28播種 11月収穫 ③8/8播種 12-1月収穫 ④8/20播種 2-3月収穫 ⑤8/25播種 3-4月収穫 春系キャベツ 2作型 ①8/22播種 年明け収穫 ②8/27播種 年明け収穫		年内収穫の作型①②がそろそろ仕上がってきます。昨年のような生育不良は見られず、病気も無く全体的に良い状態となっています。害虫は例年通り多いので薬散は11月まで定期的に行っていきます。 年明け収穫以降の作型も全体的に順調。初期の株づくりをしっかり行うために、追肥を遅れないように実施します。 春系キャベツも1回目の追肥は完了いたしました。除草作業と薬剤散布を定期的に行い、経過観測していきます。

① 第3 M ② アスパラガス柵板式高畝栽培試験 ③ 2023/6/2定植④ 周年

アスパラガス		
		アスパラの「柵板式高畝栽培」の実証試験。 2023年初夏に定植、2024年春から収穫開始。 柵板で隔離したベッドにココバグの中身を入れて養液栽培をします。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類栽培しています。 10月に入り気温が低下し、収量はさすがに減っていましたが、一部の品種はまだ収穫が続いています。11月いっぱい収穫は打ち切り、施肥をやめて地上部の黄化を促進します。

① 第8 ② 『持続可能な施設園芸』実証試験 ③ 2025/8/22 ④ 2026/7月末

大玉トマト		
		7月21日に播種、8月22日に定植を行いました。 穂木はかれんを使用し、台木はアーノルドやカイゼル等、強勢品種を5種類栽培しています。1段目が順調に肥大しているので、11月上旬には収穫を開始いたします。微量元素を中心とした葉面散布を行い、草勢を落とさず、維持していきます。コナジラミの発生はやや多いため、計画的な薬剤散布を行いつつ、LEDライトを使用して害虫防除を行っていきます。

① 第2 ② ブロッコリー ③ 2025/08～ ④ 2026/春

ブロッコリー		
1作目 8月11日播種 9月3日定植 2作目 8月16日播種 9月10日定植 3作目 8月20日播種 9月16日定植 4作目 8月25日播種 9月20日定植 5作目 9月29日播種 9月下旬定植予定 6作目 9月10日播種 10月上旬定植予定 7作目 9月19日播種 10月中旬定植予定		1作目の収穫が始まっています。 初期の高頻度の灌水と、徹底した防除のおかげで、順調に生育中。一部品種では、樹が強すぎるのがある状態です。 引き続き、チョウ目害虫を中心に、防除を実施しています。

① 施設栽培 ② バコトupp放飼防除試験

バコトupp		
今作も、昨年度に引き続き、タバコカスカメ(商品名:バコトupp)の放飼を行っております。 トマトハウスでは、バコトuppのおかげで、コナジラミが少ない状態で維持できています。 一部ハウスで、バコトuppが増えすぎているため、バコトuppに影響のある薬剤を散布し、個体数を減らすか検討中です。 キュウリは、植替えが完了し、栽培が始まった段階です。		

① 第7 ② 産直野菜 ③ 2025/10～ ④ 2026/初春

産直野菜		
		今年度も産直品目を栽培します。 葉菜類、根菜類を栽培します。 根菜類については、10月下旬に播種を行いました。



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp